

# 提 案 概 要

実施期日	8月2日(火)
部 会 名	中学校 美術部会

**1 提案テーマ** 『自分の中身・成長を感じる』～意欲の高まりを目指し、自分を表現する～

**2 単元(題材)** 成長した自分(3年間の授業を通して、自分を表現できる)

**3 学年** 第3学年(第1学年・第2学年の取り組みを発展した内容)

**4 平成27・28年度神奈川県中学校教育課程研究会研究主題とのかかわり**

① 図画工作科から美術科へのつながりを踏まえ、感性や想像力を働かせ思考・判断し、創意工夫をしながら表現したり鑑賞をしたりする力を育てる3年間を見通した年間指導計画、評価計画の作成

**5 学習指導要領との関連**

第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容 [第2学年及び第3学年] 2 内容

A表現(1) ア 対象を深く見つけ感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出すこと。

イ 主題などを基に想像力を働かせ、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練ること。

(3) ア 材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること。

B鑑賞(1) ア 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わうこと。

**6 実践に向けての課題意識**

中学入学時には、描くことに対し、苦手意識をもっている生徒が多い。生徒の様子から原因を探ったところ「思い通りに上手に表現できない」からではないかという仮説を立てた。そこで、「思い通りに表現できる技術を身につける」→「考えをもち、思うように表現したい」→「思いをもち、深く考え、思う通りに表現できた」と思えるような3年間の学習計画を考え、実践した。

**7 実践の概要**

3年間の計画

第1学年 ①グループでのアニメーション制作により表現への苦手意識をなくす。また、教えあう環境を作る。

②色彩の理論を学び、明度の世界に特化して基本的な技能の根幹であるデッサンを学ぶ。

第2学年 ①著名な絵画を選んで鑑賞し調べ学習を行い、何が好きなのか自らの気持ちを考え、模写を行う。

②第2学年①で学んだ色彩の使い方を活かし、学校を描くことを通じて、表現したいことを模索する。

第3学年 パステルを使い、手を描くことによって、自らの成長をメインテーマに自分を自分らしく表現する。

この計画により、「思い通りに上手に表現できない」生徒が、「思いをもち、深く考え、思う通りに表現できた」と言えるようにしたいと考えた。

**8 成果と課題**

・表現・鑑賞の中で自分の思うことを表現するようになってきた。また、主体的に主題決めや表現するようになってきている。

・他者のよさを学ぶ姿勢を身につけられない、発想を膨らませない生徒もいる。基本的な表現力がまだ身につけていない生徒に多いように感じる。

**9 予想される協議の柱**

学習意欲を高める指導のあり方について

効果的に学習が深まる年間指導計画について